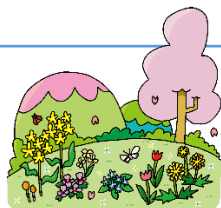




三小だより

4月号 令和8年 4月7日発行
横浜市立港南台第三小学校 学校だより
電話 833-0251
FAX 833-9204

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kohnandai3/>



だれもが喜び合える学校に

校長 日暮 勤

桜が満開の4月、新しい年度のスタートです。登校初日、進級と再会にワクワクする子どもたちは、元気な声で「おはようございます。」と挨拶を交わしてくれました。子どもたちや教職員の笑顔がつくる気持ちのよいスタートです。

本日、45名の新入生が入学しました。6年生は入学式に参加し、新入生を温かく迎えました。2年生は新入生へのビデオレターを作って送りました。

この6年生と2年生は昨年度、5年生と1年生のときに、幼稚園、保育園との交流を盛んに行いました。何回も交流するうちに顔と名前が分かり、その園児に合わせて、喜びそうな遊びを自分たちで考えることまでできるようになりました。

「喜んでもらいたい」「楽しんでもらいたい」と園児を意識した交流は、園児の笑顔と喜びになりました。また、この交流は園児だけでなく、取り組んだ小学生の喜びと笑顔にもなりました。一年間かけて育んできたこのつながりは、新入生が日々安心して学校生活を送れるような準備ともなり、互いの喜び合いになったのです。

このように、自分が相手を意識して行ったことで、相手に喜んでももらえるのはうれしいものです。もっともシンプルに双方の自尊感情を上げる機会です。このようなシーンで喜び合う相手とうれしい気持ちを共有すること、互いを大切にしようを通して、互いの自尊感情を高め、自他を大切にできる心情を育てていきます。学校生活に限らず、ご家庭でも、一緒に食べる人を意識して料理する、相手を意識してプレゼントを選ぶ、重そうに抱えている荷物を一緒に持つなど、そういう場面で、身近な人を大切に、喜び合える時間を大切にしたいと思います。

私たち教職員も、学校で子どもと学びや生活を共に体験する中で、子どもと目を合わせて「いいね。」「やったね。」と思いを共感したり、「ありがとう。」と感謝の気持ちを伝え合ったりして自尊感情を高めています。

こういった人とのつながりは、大人、子どもに関係なく、関わる人の心を満たすのです。

ここ数年、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。生成AIが生活の中に入り、AIが膨大なデータを基に導き出したものを、人が正しいかどうかを判断するような社会に変化しています。かかる時間を短縮できるのは利点ですが、このような社会に人が見えないことが心配です。私たちは学校で、子どもや職員との対話などを通して、直接つながり合うよさを実感しています。子どもが人とのつながりを面倒くさいと思うことなく、自他を大切に生きる社会を未来に残してほしいと思います。

今年度も、子どもの成長を笑顔で語り合う職員室で、教職員と笑顔を絶やさず、その成長を喜び合いながら「だれもが安心できる学校づくり」に努めていきます。保護者、地域の皆様とも、子どもの成長を喜び合える学校にしていきたいと思います。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

